トレーシングレポート通信

中国労災病院
薬剤部

No.16
2023年8月号

今回のトレーシングレポート通信は副作用の事例と処方変更の事例です！

事例①：悪心、ふらつき等の副作用が疑われた事例

処方

61歳　女性　整形外科
トアラセット®配合錠　　1日2回　1回2錠　朝･夕食後

☞トアラセット®配合錠服用後悪心、ふらつきあり。

保険薬局より

報告内容

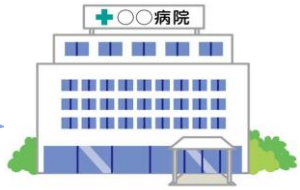
- ☐ 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)
- ☐ 服薬状況
- ☐ リフィル処方箋
- ☑ 副作用(重篤でないもの)
- ☐ 他院処方(重複、相互作用)
- ☐ 抗がん剤（☐ 経口 ☐ 注射）
- ☐ オピオイド
- ☐ 手　技（☐ 自己注射 ☐ 吸入薬 ☐ その他）
- ☐ その他（　　）

情報提供・提案事項

トアラセット®配合錠服用後１～２時間後くらいから悪心、ふらつきがあり、翌日も悪心、起き上がりにくさなどの症状が持続しているとのこと。トアラセット®錠の副作用ではないかと患者家族より問い合わせがありました。
そのため、トアラセット®の副作用に悪心、ふらつきがあることをお伝えしました。
状況をみて医師に相談されるとのことです。よろしく願い致します。

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。患者様より電話にて外来に問い合わせがあり、医師よりトアラセット®錠の内服を中止し、受診するよう指示がありました。



その後の経過

その後の受診でリリカ®OD錠75mg 1日2回 1回1錠 朝･夕食後に変更。
悪心やふらつきなどの症状なし。痛みの憎悪なく経過。

患者さんから外来への問い合わせにより内服中止となりました。トレーシングレポートで情報提供があったことにより、患者さんからの問い合わせ時にスムーズに対応できた事例でした。
副作用が疑われた場合にはトレーシングレポートで情報提供をお願いします。

事例②：副作用を疑い内服を自己中断した事例

処方

77歳　男性　内科

一硝酸イソソルビド錠10mg	1回1錠	1日2回	朝夕食後
アトルバスタチンカルシウム水和物OD錠10mg	1回1錠	1日2回	朝夕食後
メコバラミン錠500μg	1回1錠	1日2回	朝夕食後
ファモチジン錠20mg	1回1錠	1日1回	朝食後
カルベジロール錠2.5mg	1回1錠	1日1回	朝食後
アスピリン錠100mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ルビプロストンカプセル24μg	1回1CP	1日2回	朝夕食後
ツムラ大建中湯エキス顆粒	1回1包	1日3回	毎食前
フェルビナクパップ70	1日1回1枚貼付		

保険薬局より

☞水様便になったため、ルビプロストンカプセルを自己中断している。

報告内容

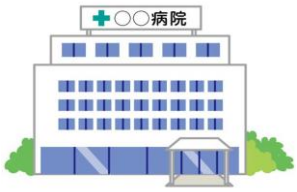
- ☐ 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)
- ☐ 服薬状況
- ☐ リフィル処方箋
- ☑ 副作用(重篤でないもの)
- ☐ 他院処方(重複、相互作用)
- ☐ 抗がん剤（☐ 経口 ☐ 注射）
- ☐ オピオイド
- ☐ 手　技（☐ 自己注射 ☐ 吸入薬 ☐ その他）
- ☐ その他（　　）

情報提供・提案事項

〇月〇日に初処方されたルビプロストンカプセル24μgを服用したところ、水様便になったことから、自己判断で服用を中断している状況。以前、ご自宅近くのかかりつけ医で処方された酸化マグネシウム錠を服用した際は、程よく排便があった模様。
医師へ処方変更について疑義照会をするか患者様に提案したところ、いまだ便秘症が続いているので、再度ルビプロストンカプセル24μgを服用するという患者様の意向で疑義照会することなくご帰宅されました。
ルビプロストンカプセル24μg服用による水様便が続いている場合、患者様ご本人からも次回受診時に相談するとのことです。尚、酸化マグネシウム錠の規格については、ご本人様の記憶が曖昧のため、不明です。
お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、カルテ記載で主治医へ報告しました。



その後の経過

次回受診時にルビプロストンカプセルから酸化マグネシウム錠へ薬剤変更となった。
それ以降排便コントロールは良好で経過している。

副作用のため内服を自己中断しており、薬剤変更の提案を行おうとしたが、患者さんの意向により服薬を継続した事例でした。
軽微な副作用であったためトレーシングレポートでの対応となりました。また、薬剤部でも軽微な副作用と判断し、カルテ記載による医師への報告としました。
緊急性が高いと判断した場合には主治医に電話で確認します。
緊急性の高い副作用については疑義照会で問い合わせてください。

事例③：副作用が出現したため薬剤の中止を提案した事例

処方

90歳　女性　整形外科

デュロキセチン塩酸塩カプセル20mg	1回1カプセル	1日1回	朝食後
ドンペリドン錠10mg	1回1錠	1日3回	毎食直前
レバミピド錠100mg	1回1錠	1日3回	毎食後
ロキソプロフェンNa錠60mg	1回1錠	1日3回	毎食後
リマプロストアルファデクス錠5μg	1回1錠	1日3回	毎食後
ラロキシフェン塩酸塩錠60mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ゾピクロン錠7.5mg	1回1錠	1日1回	寝る前
パンテチン散20%	1回1ｇ	1日1回	寝る前
酸化マグネシウム末	1回1ｇ	1日1回	寝る前

保険薬局より

☞デュロキセチン塩酸塩カプセルを内服後、吐き気や高血圧などの副作用が出現。

報告内容

- ☐ 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)
- ☐ 服薬状況
- ☐ リフィル処方箋
- ☑ 副作用(重篤でないもの)
- ☐ 他院処方(重複、相互作用)
- ☐ 抗がん剤（ ☐ 経口 ☐ 注射）
- ☐ オピオイド
- ☐ 手　　技（ ☐ 自己注射 ☐ 吸入薬 ☐ その他）
- ☐ その他（　　）

情報提供・提案事項

デュロキセチン塩酸塩カプセルを初めて服用した日には一日中、吐き気と体調不良。寝る前に血圧を測定したところ、150mmHgを超えていて驚いた。次の日にも血圧が高く、頭が重たい感じがしたが、我慢して服薬を継続。4日目にこれ以上続けるのは怖いとの連絡がありました。食欲不振も続いているとのことだったので、一旦中断して経過を観察することを提案しました。
7日目に状況確認のため連絡を取ったところ、血圧は元に近いところまで下がり、食事も摂れるようになったとの回答。服薬を中止し次の診察を待つとのことです。

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、カルテ記載で主治医へ報告しました。

その後の経過

デュロキセチン塩酸塩カプセルを中断したまま、副作用症状は改善。外来受診時に処方は中止となった。ロキソプロフェンNa錠とロキソプロフェンNaゲルが処方され、疼痛は軽快した。

開始した薬剤により副作用が出現したが、薬剤師の提案で早期中止したことで、重大な副作用につながることなく、症状が軽快した事例でした。